

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

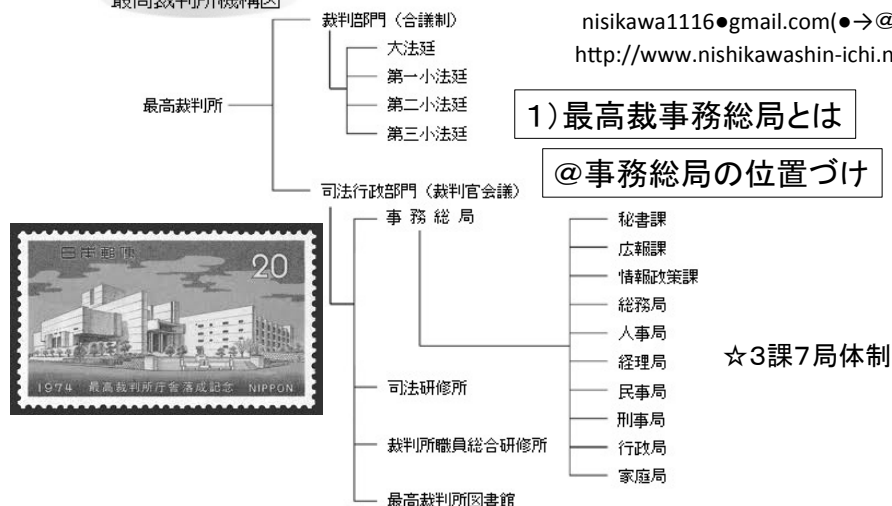
最高裁事務総局幹部人事の近年の動向

明治大学政治経済学部・西川伸一

nisikawa1116@gmail.com(●→@)

<http://www.nishikawashin-ichi.net/>

最高裁判所機構図



1) 最高裁事務総局とは

@事務総局の位置づけ

☆3課7局体制

出所: 最高裁HP (<http://www.courts.go.jp/saikosai/about/sosiki/index.html>)

1

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

@裁判所法の関連規定

第12条（司法行政事務） 最高裁判所が司法行政事務を行うのは、裁判官会議の議によるものとし、最高裁判所長官が、これを総括する。

2 裁判官会議は、全員の裁判官でこれを組織し、最高裁判所長官が、その議長となる。

第13条（事務総局） 最高裁判所の庶務を掌らせるため、最高裁判所に事務総局を置く。

@最高裁判所裁判官会議規程

（昭和22年9月22日最高裁判所規程第1号）

第9条 最高裁判所事務総長は、裁判官会議に出席して意見を述べることができる。〔後略〕

第10条 裁判官会議において適当と認めるときは、最高裁判所の裁判官でない者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。



最高裁判所裁判官会議には、15人の最高裁判官のほか、事務総長と秘書課長らが出席。

2

@最高裁判官会議の現場

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

「裁判官会議は、原則として毎週水曜日の一〇時半から開かれることになっており、三宅坂そして皇居のお堀に面した裁判官棟四階の、第一小法廷裁判官室の並びにある会議室で行われる。〔中略〕会議は、円卓に坐した一五人の全裁判官によって行われるが、事務総長及び秘書課長のほか、その時の議題に関連する事項の担当局長が手前の机に控える。入り口を入って右手の壁を背にした中央に、議長である長官が座り、そこから時計と逆回りに、任官順に各裁判官の席が定められている。つまり長官を除き最先任の裁判官が長官席（議長席）の右隣に座り、新任裁判官が長官の左隣に座ることになる。裁判官は、次々と定年退官し〔中略〕その都度、自席は左にずれて行く。目の前の景色も変わって行き、新任後少しすると、正面の窓外に皇居の緑を見る〔中略〕事務総局側の説明が後ろから聞こえて来るといういささか気持ち悪い位置に来ることになる。〔中略〕前任順にして五～六番目の位置に来ると、正面に事務局連中の顔を見るが、しかし窓外の緑は全く見えないう、名付けて「窓際族」の仲間入りをするのである。」藤田（2012：31-32）



出所：最高裁HP

3

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

Cf.)「事務総長をやらないと、〔最高裁〕裁判官会議で発言できない。」

(千種秀夫元最高裁判事・談、2013.7.17)

@現在の事務総局幹部リスト

6 第1580号 平成25年6月15日 裁判所時報

最高裁判所 (平成25年6月1日現在)									
最高裁判所 長官		第一小法廷		第二小法廷		第三小法廷		司法研修所	
長官	竹崎博允	裁判官	櫻井龍子	裁判官	竹崎博允	裁判官	岡田喜代子	所長	安井久治
裁判官	井上崇	裁判官	金井善樹	裁判官	内田千恵	裁判官	大寺大木	事務局長	吉廣
裁判官	横山善	裁判官	木浦善	裁判官	小川丸	裁判官	橋内	事務局長	井崎
裁判官	山善	裁判官	山善	裁判官	小川丸	裁判官	橋内	事務局長	井崎
事務総局	大小堀	事務総局	大小堀	事務総局	大小堀	事務総局	大小堀	事務総局	大小堀
事務総局長	谷林直人	事務総局長	谷林直人	事務総局長	谷林直人	事務総局長	谷林直人	事務総局長	谷林直人
秘書課長	堀田三亮	秘書課長	堀田三亮	秘書課長	堀田三亮	秘書課長	堀田三亮	秘書課長	堀田三亮
広報課長	堀田三亮	広報課長	堀田三亮	広報課長	堀田三亮	広報課長	堀田三亮	広報課長	堀田三亮
情報政策課長	堀田三亮	情報政策課長	堀田三亮	情報政策課長	堀田三亮	情報政策課長	堀田三亮	情報政策課長	堀田三亮
総務局長	堀田三亮	総務局長	堀田三亮	総務局長	堀田三亮	総務局長	堀田三亮	総務局長	堀田三亮
人事局長	堀田三亮	人事局長	堀田三亮	人事局長	堀田三亮	人事局長	堀田三亮	人事局長	堀田三亮

@本報告で取り上げる幹部ポスト

事務総長、総務局長、人事局長、経理局長、民事局長兼行政局長、刑事局長、家庭局長

4

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

2) 最高裁事務総長

@裁判所法の関連規定

第53条（最高裁判所事務総長） 最高裁判所に最高裁判所事務総長一人を置く。

2 最高裁判所事務総長は、最高裁判所長官の監督を受けて、最高裁判所の事務総局の事務を掌理し、事務総局の職員を指揮監督する。

最高裁判所事務総長に任命する
静岡地方裁判所判事

大谷 直人

Cf.) 2011年1月27日付

『官報』2011年2月2日。

2012年3月27日付

『官報』2012年4月11日。

「命ずる」「補する」ではなく「任命する」

☆事務総長は裁判官ではなく事務官

東京地方裁判所判事
最高裁判所事務総局人事局長を免する
静岡地方裁判所判事に補する
静岡地方裁判所長を命ずる

大谷 直人

5

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

@大谷直人事務総長の就任記者会見記事

AS. 2012. 3. 28
裁判員制度「いよいよ外海へ」

大谷・最高裁事務総長が抱負

27日付で就任した大谷直人・最高裁事務総長(59)が記者会見し、「国民から信頼される裁判所となるよう力を尽くしたい」と抱負を語った。

今年5月で導入から3年を迎え、見直しの議論が始まる裁判員制度について、大谷総長は「進水式を終え湾内を航行してきた段階から、いよいよ外海に出て行く時期」と表現。司法の市民参加に長い歴史を持つ欧米の状況を踏まえ「見えてきた課題はもちろん、時代の変化とともに生じる新たな問題を改善していく努力も必要だ」と述べた。大谷総長は東大卒。最高裁判事局長や同人事局長などを経て、2011年1月からは静岡地裁所長を務めていた。



『朝日新聞』2012年3月28日。

事務総長が就任時に記者会見し、それがマスメディアで報じられたのはおそらくはじめて。



最高裁の変化を示す？

Cf.) 新たな最高裁裁判官が就任する際は必ず記者会見が報じられる。

「最高裁判事局長や同人事局長」



より正確には、「最高裁事務総局刑事局長や同人事局長」=最高裁事務総局という役所の幹部ポスト

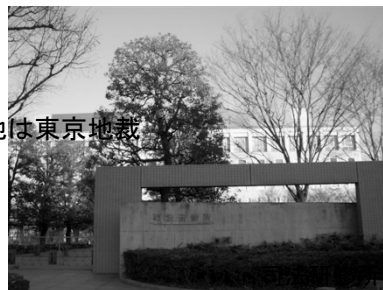
☆事務総局の幹部には裁判官が必ず就く。

6

@大谷氏が事務総長になるまで

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

1952.6 栃木県生まれ
 1974.9 司法試験合格
 1975.3 東大法卒
 1975.4 司法修習生(29期)
 1977.4 修習終了・判事補任官、初任地は東京地裁
 1980.7 事務総局刑事局付
 1983.4 書記官研修所教官
 1986.4 富山地・家裁判事補
 1987.4 富山地・家裁判事
 1989.4 最高裁調査官
 1994.4 東京地裁判事
 1995.4 司法研修所教官
 1998.4 事務総局刑事局第1・3課長
 2000.4 東京高裁判事
 2001.4 東京地裁部総括判事
 2002.9 事務総局秘書課長兼広報課長
 2005.1 事務総局刑事局長兼最高裁図書館長
 2007.1 事務総局人事局長
 2011.1 静岡地裁所長



☆任官から今年4月までの35年間で、
 現場の裁判に携わったのは約10年、
 裁判をしなかったのは約25年。



☆裁判官というより司法官僚

2012.3 最高裁事務総長

7

@大谷事務総長の経歴的特徴

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

①東大現役合格かつ東大在学中に司法試験合格(29期77人中8人)。

1952.6生まれ→1974.9司法試験合格(22歳)→1975.4司法修習生。

②初任地が東京地裁で、初任あけが局付。

幹部候補生と目されている証拠。 「津崎守」東京地裁→人事局付

「法律家のお仕事って、大変なんですか？」
 直美の物腰はゆとりと落ちついていて、欧米風に洗練されていた。
 「まあ、裁判の現場にいれば、毎日事件処理に追われて大変ですが、わたしは今、事務総局という管理部門みたいなところにいるので、中央官庁の役人のような仕事をしています」
 津崎守はいった。
 「朝は何時ごろ出勤されるんですか？」
 「普通の人とは午前九時とか九時半ですね。わたしはもう少し早めに出ています」
 熊本の出張から戻って以来、毎朝七時半には出勤し、他の人々が仕事を始める前に、一仕事終わらせている。

「具体的などんなお仕事をされているんですか？」
 「国会が開かれている間は、議員の質問をリッパに行ったり、夜中の二時、三時までかかって答弁書をつくって、早朝から局長にレクチャーしたり、議員会館や自民党の朝食会に説明に出向いたりします。答弁は、課長や局長、場合によっては事務総長や長官のオーダーもこななくてはなりません。普段は、採用や人事異動、日常の人事に関する細々とした仕事です。他局や法務省と情報交換や対応のすり合わせなんかもします。予算編成の時期になると、大蔵省に出向いて交渉をします」
 「どんな交渉なんですか？」
 直美は興味深げな表情。
 「要求内容について、大蔵省の担当官がいろいろ質問や反対をしてくるので、それに対する説明や反論ですね。『国選弁護人の報酬はもう少し低くてもいいんじゃないか』とか『司法修習生の給料は高すぎるので、生活保護並みにしたらいいんじゃないか』とか、結構、好き勝手なことをいってきます」
 「生活保護並みですか……」
 直美は笑った。

黒木亮

法服の王国

■181■

『産経新聞』2012年1月23日。

8

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

- ③東京高裁管内から出たことは富山地・家裁勤務の1回だけ。
例外的優遇。一度は北海道か南九州・沖縄に赴任するのが通常。

例) 竹崎博允・最高裁長官

1969.4 東京地裁判事補
1972.4 広島地裁
1974.4 司法研修所付
1977.4 鹿児島地家裁名瀬支部
1978.4 東京地裁

たけさき・ひろのぶ
(1944-)

- ④「三冠王ポスト」のすべてに就任。

事務総局課長・課長、最高裁調査官、司法研修所教官

- ⑤秘書課長ポストを経験。

「〔事務〕総局で本当に必要なのは、長官、事務総長、事務次長、それから総務・人事・経理の各局長、それと秘書課長です。その線さえ押さえておけば、人的関係の形成には支障がないんです」矢口(2004:151)

- ⑥事務総局人事局長ポストを経験。

「〔事務〕総局には〔中略〕七局があったが、裁判官、書記官、事務官の人事を統轄する人事局が最も重大な案件を抱えており」石川(2006:174)

- ⑦高裁長官、最高裁判事になるのはほぼ確実。最高裁長官も。

9

@歴代事務総長

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級	総	人	経	民	刑	家	次	地家裁	任	免	高裁長官	最高
1	矢口洪一	1920	男	京大	輪1	S1	—	○	—	—	—	—	○	東京	1980.3.22	1982.11.21	東京	◎
2	勝見嘉美	1922	男	東大	3	S1	—	○	—	—	—	—	○	東京	1982.11.22	1986.1.16	名古屋	×
3	草場良八	1925	男	東大	3	S2	—	—	○	—	—	—	—	東京	1986.1.17	1988.2.14	東京	◎
4	大西勝也	1928	男	東大	5	S1	○	○	—	—	—	—	○	東京	1988.2.15	1989.11.26	東京	○
5	川寄義徳	1931	男	京大	8	S3	—	—	○	—	—	—	○	東京	1989.11.27	1992.2.12	大阪 東京	×
6	千種秀夫	1932	男	東大	7	A1	—	—	—	—	—	—	—	東京	1992.2.13	1993.9.12	×	○
7	金谷利広	1935	男	京大	12	S2	○	—	—	—	—	—	—	大阪	1993.9.13	1996.11.28	東京	○
8	泉 徳治	1939	男	京大	15	S1	—	○	—	○	—	—	○	東京	1996.11.29	2000.3.21	東京	○
9	堀籠幸男	1940	男	東大	19	S2	—	○	—	—	—	—	○	×	2000.3.22	2002.11.6	大阪	○
10	竹崎博允	1944	男	東大	21	S3	—	—	○	—	—	—	○	×	2002.11.7	2006.6.25	東京	◎
11	大谷剛彦	1947	男	東大	24	S1	—	—	○	—	—	—	○	×	2006.6.26	2009.1.25	大阪	○
12	山崎敏充	1949	男	東大	27	S1	—	○	—	—	—	—	○	東京	2009.1.26	2012.3.26	名古屋	—
13	大谷直人	1952	男	東大	29	S2	—	○	—	—	○	—	—	東京	2012.3.27	○	—	—

@就任者のキャリアパスの共通性

西川(2011:245)に加筆。

男性 → 東大か京大を卒業 → 事務総局の局付and/or課長に就任
→ 事務総局の官房事務部局の局長に就任(千種は例外)
→ 東京高裁管内か大阪高裁管内の地家裁所長に就任(3人は「飛び級」)
→ 就任後は東京、大阪、名古屋のいずれかの高裁長官に就く(千種は例外)
→ その後は最高裁判事に(未就任は勝見と川寄のみ)

10

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

3) 事務総局官房事務部局局長

官房事務部局：
総務局、人事局、経理局

@歴代総務局長

〈凡例〉

級班 記号	官房事務部局		事件関係事務部局	
	局付	課長	局付	課長
S1	○	○		
S2		○		○
S3	いずれか一つ			

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級班	任	免	地家裁	要職4ポスト	高裁長官	最高	備考
1	長井 澄	1918	男	東大	輪2	S1	1970.7.11	1973.2.14	広島 東京	×			在官中死亡
2	田宮重男	1934	男	東大	1	S1	1973.2.15	1976.7.15	東京	司研所長	×	×	依願退官
※長井澄 (事務取扱)													
3	大西勝也	1928	男	東大	5	S1	1977.9.26	1981.2.6	東京	事務総長	東京	○	人事局長も
4	梅田晴亮	1929	男	京大	8	S2	1981.2.7	1983.1.31	仙台 東京	×	札幌	×	依願退官
5	山口 繁	1932	男	京大	9	S3	1983.2.1	1988.3.31	東京	司研所長	福岡	◎	
6	金谷利広	1935	男	京大	12	S2	1988.4.1	1991.6.14	大阪	事務総長	東京	○	
7	上田豊三	1937	男	東大	15	S2	1991.6.15	1993.11.3	東京	首席調査官	広島 大阪	○	
8	涌井紀夫	1942	男	京大	18	S2	1993.11.4	1998.1.23	東京	司研所長	福岡	○	
9	浜野 惺	1945	男	東大	23	S2	1998.1.24	1999.8.31	東京	×	×	×	依願退官
※堀籠幸男 (事務取扱)													
10	中山隆夫	1948	男	東大	26	S2	2000.1.4	2004.9.12	東京				
11	國尾隆司	1949	男	東大	26	S2	2004.9.13	2006.9.8	東京				民・行局長も
12	高橋利文	1950	男	東北大	28	S3	2006.9.9	2009.4.25	×				民・行局長も・在官中死亡
13	戸倉三郎	1954	男	一橋大	34	S3	2009.4.27	○					

*ゴシック体は複数の局長就任者。以下、同じ。

西川 (2011 :246)

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

@就任者のキャリアパスの共通性

男性 → 東大か京大を卒業(ただし、直近2人は国公立大)

→ 事務総局の局付and/or課長に就任

→ 就任後はほとんどが東京高裁管内の地家裁所長に進む。

→ その後は「要職4ポスト」のいずれかを経て、高裁長官、最高裁判事へ。

Cf.)「要職4ポスト」

事務総長、司法研修所長、首席調査官、法務省民事局長

☆職業裁判官出身の最高裁裁判官は
必ずこの4ポストのいずれかを経由する。

現職最高裁裁判官	「要職4ポスト」就任歴
竹崎 博允 長官	事務総長
金築 誠志 判事	司法研修所長
千葉 勝美 判事	首席調査官
白木 勇 判事	未就任
大谷 剛彦 判事	事務総長
寺田 逸郎 判事	法務省民事局長

日本国憲法下で司法修習
を終了した裁判官出身の最
高裁裁判官

矢口洪一(輪1)～寺田逸郎
(26):29人



そのうち「4ポスト」未就任は4人。

大内恒夫(輪2)、四ッ谷巖
(1)、町田顕(13)、白木勇
(22)

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

@歴代人事局長

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級班	任	免	地家裁	要職4ポスト	高裁長官	最高	備考
1	矢口洪一	1920	男	京大	輪1	S1	1971.1.4	1976.7.15	東京	事務総長	東京	◎	民・行局長も
2	勝見嘉美	1922	男	東大	3	S1	1976.7.16	1981.2.6	東京	事務総長	名古屋	×	依頼退官
3	大西勝也	1928	男	東大	5	S1	1981.2.7	1984.9.10	東京	事務総長	東京	○	総務局長も
4	桜井文夫	1934	男	東大	11	S1	1984.9.11	1990.3.14	東京	司研所長	広島 東京	×	
5	泉 徳治	1939	男	京大	15	S1	1990.3.15	1994.4.7	東京	事務総長	東京	○	民・行局長も
6	堀籠幸男	1940	男	東大	19	S2	1994.4.8	1998.8.9	×	事務総長	大阪	○	
7	金築誠志	1945	男	東大	21	S1	1998.8.10	2002.9.17	東京	司研所長	大阪	○	
8	山崎敏充	1949	男	東大	27	S1	2002.9.18	2007.1.14	東京	事務総長	東京		
9	大谷直人	1952	男	東大	29	S2	2007.1.15	2011.11.26	東京	事務総長			刑事局長も
10	安浪亮介	1957	男	東大	35	S1	2011.1.27	○					

西川(2011:246)に加筆。

@就任者のキャリアパスの共通性

男性 →東大か京大を卒業 →事務総局の局付と課長の両方を経験。
 ☆10人中8人が「S1」=官房事務部局の局付と課長の両方を経験。
 →就任後はほとんどが東京高裁管内の地家裁所長に進む(堀籠は「飛び級」)。
 →その後は必ず事務総長(2人のみ司研所長)になる。
 →その後は必ず東京か大阪の高裁長官に(勝見のみ例外)。
 →その後はほぼ最高裁判事へ。ただし長官は矢口のみ。

13

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

@歴代経理局長

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級班	任	免	地家裁	要職4ポスト	高裁長官	最高	備考
1	大内恒夫	1922	男	東大	輪2	S2	1969.7.1	1975.4.30	東京	×	名古屋 東京	○	
2	草場良八	1925	男	東大	3	S2	1975.5.1	1980.3.10	東京	事務総長	東京	◎	
3	原田直郎	1926	男	東大	5	A2	1980.3.11	1983.7.14	大阪	×	大阪	×	家庭局長も
4	川崎義徳	1931	男	京大	8	S3	1983.7.15	1986.9.21	東京	事務総長	大阪 東京	×	民・行局長も
5	町田 顕	1936	男	東大	13	S2	1986.9.22	1991.7.17	東京	×	福岡 東京	◎	
6	仁田陸郎	1942	男	東大	18	S1	1991.7.18	1997.3.13	東京	×	札幌 東京	×	
7	竹崎博允	1944	男	東大	21	S3	1997.3.14	2002.7.9	×	事務総長	名古屋 東京	◎	
8	大谷剛彦	1947	男	東大	24	S1	2002.7.10	2006.1.29	×	事務総長	大阪	○	
9	小池 裕	1951	男	東大	29	S1	2006.1.30	2010.7.6	東京	×			現・東京地所長
10	林 道晴	1957	男	東大	34	S2	2010.7.7	2013.3.4	東京				民・行局長も
11	垣内 正	1956	男	阪大	38	S2	2013.3.5	○					

西川(2011:247)に加筆。

@就任者のキャリアパスの共通性

男性 →東大か京大を卒業(例外は直近の垣内のみ)
 →事務総局の局付 and/or 課長を経験(原田は例外)。
 →就任後はほとんどが東京高裁管内の地家裁所長に進む(「飛び級」2人)。
 →その後は事務総長に進むのは約半分だが、いずれにせよ高裁長官になる。
 →最高裁には約半分しか進めないが、3人の最高裁長官を輩出している_{q4}

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

3) 事務総局事件関係事務部局局長

事件関係事務部局：民事局、刑事局、行政局、家庭局

☆民事局長は行政局長を兼務→3局長ポスト

@歴代民事局長兼行政局長

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級	任	免	地家裁	要職4ポスト	高裁長官	最高	備考
1	矢口洪一	1920	男	京大	輪1	S1	1968.11.11	1970.12.29	東京	事務総長	東京	◎	人事局長も
	瀬戸正二				試補		1970.12.30	1972.1.30					
2	西村宏一	1920	男	東大	1	S2	1972.1.31	1974.10.3	札幌 東京	首席調査官	福岡	×	
3	井口牧郎	1925	男	東大	2	S3	1974.10.4	1978.9.21	東京	首席調査官	仙台 福岡 名古屋	×	依願退官
4	西山俊彦	1926	男	東大	4	A1	1978.9.22	1981.2.28	福岡 東京 名古屋	×	高松	×	
5	川崎義徳	1931	男	京大	8	S3	1981.3.1	1983.7.14	東京	事務総長	大阪 東京	×	総務局長も
6	上谷 清	1934	男	京大	10	S3	1983.7.15	1988.2.28	大阪	×	仙台 大阪	×	
7	泉 徳治	1939	男	京大	15	S1	1988.2.29	1990.3.14	東京	事務総長	東京	○	人事局長も
8	今井 功	1939	男	京大	16	S2	1990.3.15	1994.12.20	東京	首席調査官	仙台 東京	○	
9	石垣君雄	1943	男	東大	20	S3	1994.12.21	1999.2.10	東京	×	×	×	依願退官
10	千葉勝美	1946	男	東大	24	S1	1999.2.11	2003.1.23	東京	首席調査官	仙台	○	
11	國尾隆司	1949	男	東大	26	S2	2003.1.24	2004.9.12	東京				総務局長も
12	高橋利文	1950	男	東北大	28	S3	2004.9.13	2006.9.8			×		総務局長も・在官中死亡
13	小泉博嗣	1953	男	京大	31	S2	2006.9.9	2009.8.1	東京				裁判所職員総合研修所長も
14	林道晴	1957	男	東大	34	S2	2009.8.3	2010.7.6	東京				総務局長も
15	永野厚郎	1956	男	東大	35	S3	2010.7.7	○					

西川(2011:247)に加筆。

15

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

@就任者のキャリアパスの共通性

男性 →東大か京大を卒業(例外は高橋のみ)

→事務総局の局付 and/or 課長を経験(例外は西山のみ)。

→就任後は全員が東京高裁管内の地家裁所長に進む。

→その後は4人が首席調査官に進んでいる。事件局のためか。

Cf.)事務総長にも3人が進んでいるが、いずれも官房局を経由している。

→事件局を経ずに最高裁入りしたのは二人だけ。

@局長就任者は東京高裁管内のどの地家裁所長に就くか

地家裁名	就任者数	地家裁名	就任者数	地家裁名	就任者数	地家裁名	就任者数
東京地	6	さいたま家	1	宇都宮地	4	静岡家	0
東京家	6(1)	千葉地	8	宇都宮家	0	甲府地家	10(1)
横浜地	3(1)	千葉家	3	前橋地	9(1)	長野地家	2
横浜家	2	水戸地	5	前橋家	0	新潟地	0
さいたま地	6	水戸家	0	静岡地	6	新潟家	2(1)

*赤字は家庭局長就任者で、()内は内数。¹⁶

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

@歴代刑事局長

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級	班	司	任	免	地家裁	要職4ポスト	高裁長官	最高	備考
1	千葉和郎	1923	男	東北大	2	S3	×		1973.6.30	1975.7.14	大阪 東京	×	福岡 名古屋		依願退官
2	岡垣 勲	1922	男	東大	2	S3	×		1975.7.15	1980.2.19					在官中死亡
3	柳瀬隆次	1926	男	東大	3	A1	○		1980.2.20	1981.2.6	東京	司研所長	×	×	
4	小野幹雄	1930	男	中大	7	A1	○		1981.2.7	1985.9.30	大阪	司研所長	大阪	○	
5	吉丸 眞	1932	男	東大	10	S2	×		1985.10.1	1989.8.24	東京	×	札幌	×	
6	島田仁郎	1938	男	東大	16	S2	○		1989.8.25	1994.3.21	東京	司研所長	仙台 大阪	◎	
7	高橋省吾	1943	男	東大	20	A1	○		1994.3.22	1997.8.3	仙台	×	×	×	
8	白木 勇	1945	男	東大	22	S2	○		1997.8.4	2001.9.15	東京	×	広島 東京	○	
9	大野市太郎	1946	男	東大	24	S3	○		2001.9.16	2005.1.27	東京	司研所長	福岡 大阪	×	
10	大谷直人	1952	男	東大	29	S2	○		2005.1.28	2007.1.14	東京	事務総長			人事局長も
11	小川正持	1949	男	名古屋大	29	A1	○		2007.1.15	2010.1.23	東京				
12	植村 稔	1955	男	東大	34	S2	×		2010.1.25	2013.1.7	東京				
13	今崎幸彦	1957	男	京大	35	S2	○		2013.1.8	○					

*「司」は司法研修所教官歴。

西川(2011:248)に加筆。

@就任者のキャリアパスの共通性

- 男性 → 東大か京大を卒業(例外は3人、うち1人は私大卒)
→ 事務総局の局付 and/or 課長を経験してない者も4人いる。
→ 就任後はほとんどが東京高裁管内の地家裁所長に進む(例外は2人)。
→ その後は半分が司研所長に進む。すべて司研教官経験者。
→ 最高裁には約半分しか進めない。

17

第5回違憲審査制研究会
2013.8.26@北大

@歴代家庭局長

No.	氏名	生年	性別	出身大学	期	級	班	任	免	地家裁	要職4ポスト	高裁長官	最高	備考
1	堀分一立	1922	男	東大	3	S2		1972.2.26	1977.4.9	広島				在官中死亡
2	原田直郎	1926	男	東大	5	A2		1977.4.10	1980.3.10	大阪	×	大阪	×	経理局長も
3	栗原平八郎	1929	男	京大	6	S2		1980.3.11	1983.3.31	東京 大阪	×	仙台 名古屋 東京	×	
4	猪瀬慎一郎	1929	男	東大	9	S2		1983.4.1	1987.3.1	東京	×	福岡	×	依願退官
5	早川義郎	1935	男	東大	12	S1		1987.3.2	1989.11.1	東京	×	×	×	依願退官
6	山田 博	1932	男	名古屋大	15	S2		1989.11.2	1992.11.11	大阪 東京	×	×	×	依願退官
7	木村 要	1937	男	中大	18	S2		1992.11.12	1997.11.2	東京	×	×	×	依願退官
8	安倍嘉人	1946	男	東大	23	S2		1997.11.3	2002.11.29	東京	×	福岡 東京	×	
9	山崎 恒	1948	男	東大	26	S2		2002.11.30	2005.12.19	東京	×	札幌	×	依願退官
10	二本松利忠	1949	男	京大	31	S3		2005.12.20	2009.8.15	大阪				
11	豊沢佳弘	1957	男	東大	34	S3		2009.8.17	2013.5.1					
12	岡健太郎	1960	男	東大	38	S2		2013.5.2	○					

西川(2011:248)に加筆。

@就任者のキャリアパスの共通性

- 男性 → 東大か京大を卒業(例外は2人、うち1人は私大卒)
→ 事務総局の局付 and/or 課長を経験している(例外は1人)。
→ 就任後は東京か大阪高裁管内の地家裁所長に進む(例外は1人)。
→ 高裁長官にはなれるが、「要職4ポスト」には進めない。
→ 半数は依願退官する。 = 最高裁入りはできない。

18

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

@局長の横滑り関係

	局長	初任	総務	人事	経理	民事・行政	刑事	家庭
官房局	総務局長(13)	11		1	0	2	0	0
	人事局長(10)	6	1		0	2	1	0
	経理局長(11)	8	0	0		2	0	1
事件局	民事・行政局長(15)	15	2	2	1		0	0
	刑事局長(13)	13	0	1	0	0		0
	家庭局長(12)	12	0	0	1	0	0	

西川(2011:65)に加筆。

表の見方: 横にみて網掛けの数字は、当該ポストに就任した後に別の局長ポストに就いていた人数を示す。例) 総務局長→1 = 総務局長の後に人事局長に就任。

「初任」は、当該局長ポストがはじめて局長として就任した者の数。

事件局局長のあとに官房局局長に就任する。官房局局長の方が格上。
人事局長には4人が他の局長経験者が横滑り。→事実上の筆頭局長
民事局長兼行政局長からの横滑りが多い。→矢口洪一が「前例」

19

第5回違憲審査制研究会

2013.8.26@北大

@矢口洪一「ズバ抜けていた」

「私が人事局長になるとは、思ってもみないことでした。それまでは、事務総局の局長に横滑りということはいんです。私を人事局長にしたのは、ナイキ基地訴訟等の実績で、「あれに任せれば、ちゃんとやるだろう」ということでしょう。〔中略〕結局、ほかの人と較べてみて、自分で自分のことを言うのは変ですけども、ズバ抜けていたということでしょう。」矢口(2004:175)

まとめ: 循環的な任命と昇進のパターン

「人事局に勤務する裁判官Aが、裁判官Bと裁判官Cを人事局のポストに就けるとしよう。すると次には、裁判官Bと裁判官Cが互いに出世して、ゆくゆくは裁判官Aを裁判実務の世界を少しかじった後に司法行政ポストに連れ戻すのである。」ロー(2013:20)

@引用・参考文献

石川義夫(2006)『思い出すまま』れんが書房新社。
黒木亮(2013)『法服の王国』産経新聞出版。
西川伸一(2005)『日本司法の逆説』、(2011)『裁判官幹部人事の研究』五月書房。
藤田宙靖(2012)『最高裁回想録』有斐閣。
矢口洪一(2004)『矢口洪一オール・ヒストリー』政策研究大学院大学。
ロー、デイヴィッド S., 西川伸一訳(2013)『日本の最高裁を解剖する』現代人文社。²⁰